

ブロック会議質問事項

**質問１．統一精度管理調査における有害大気の分析方法の推奨方法に、補集管法は含まれないのか。(北海道・東北ブロック)**

(回答)

推奨方法については、統一精度管理部会において決定しておりますが、ご要望としてお受けし、部会において検討したいと考えます。

**質問２．ダイオキシン分析について、JISの改正を受けて、公定法にASEが採用されると聞いたが、どうか。また、公定法に採用されることになった場合、ASEで行うと、ソックスレー抽出を行った場合と異性体の出方が変わるため、発生源の寄与率等、これまで蓄積された情報との整合性がとれなくなると思うが、どのように考えているのか。(北海道・東北ブロック)**

(回答)

JIS K0311(排出ガス)及びJIS K0312(排水)の改正案が現在、検討されているところですが、検討は遅れており、結論が出るのは来年度の見込みと聞いております。公定法の扱いにつきましては、必要に応じて対応を検討いたします。

**質問３．ASEは結果が高く出る傾向があるようですが、ソックスレーとどの程度の違いであれば、使用してよいものですか。(北海道・東北ブロック)**

(回答)

質問２の回答を参照して下さい。

**質問４．長期計画ではH17年度においてダイオキシン類に関する調査がなさそうであるが。(関東ブロック)**

(回答)

要望としてお受けし、ダイオキシン類調査の実施について委員会で検討します。

**質問５．ASEはJISに採用(ソックスレーと同程度であることの確認が必要)とのことですが、環境省としては使用してよいと考えているのですか。(近畿ブロック)**

(回答)

質問２の回答を参照して下さい。

**質問6．公定法から少し外れた方法（例えば、ASE）による結果はどのようになりますか。（九州ブロック）**

（回答）

ASEで行った場合、ソックスレー抽出で行った場合に比べ、数値が高くなる傾向があります。本調査での抽出操作に関するとりまとめにおいては、抽出法ごとにとりまとめる等、より詳細に行うことが必要と考えられます。（報告書本編P125～126参照）

**質問7．以前には底質調査方法の改正がありそうと言っていましたが、改正はまだですか。**

（回答）

改訂版を平成14年に独立行政法人国立環境研究所のホームページ上で公表していますので参考にして下さい。